

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年4月25日
【四半期会計期間】	第59期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
【会社名】	アイホン株式会社
【英訳名】	AIPHONE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 市川 周作
【本店の所在の場所】	名古屋市中区新栄町一丁目1番 明治安田生命名古屋ビル
【電話番号】	052(228)8181(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室副室長 和田 健
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区新栄町一丁目1番 明治安田生命名古屋ビル
【電話番号】	052(228)8181(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室副室長 和田 健
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成28年11月10日に提出いたしました第59期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

《日本セグメント》

(2) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は、_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第58期 第2四半期 連結累計期間	第59期 第2四半期 連結累計期間	第58期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (百万円)	20,273	20,717	42,670
経常利益 (百万円)	1,557	<u>1,261</u>	3,429
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,033	<u>904</u>	3,299
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	599	<u>△195</u>	2,070
純資産額 (百万円)	42,319	<u>41,838</u>	43,544
総資産額 (百万円)	50,267	<u>50,082</u>	52,198
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	63.34	<u>55.43</u>	202.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	81.65	83.54	80.95
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,390	1,306	3,673
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△588	△2,647	△705
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△264	△1,527	△526
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	14,546	12,022	15,269

回次	第58期 第2四半期 連結会計期間	第59期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	59.23	<u>50.52</u>

(注) (省略)

(訂正後)

回次	第58期 第2四半期 連結累計期間	第59期 第2四半期 連結累計期間	第58期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (百万円)	20,273	20,717	42,670
経常利益 (百万円)	1,557	<u>1,225</u>	3,429
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,033	<u>876</u>	3,299
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	599	<u>△222</u>	2,070
純資産額 (百万円)	42,319	<u>41,810</u>	43,544
総資産額 (百万円)	50,267	<u>50,047</u>	52,198
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	63.34	<u>53.75</u>	202.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	81.65	83.54	80.95
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,390	1,306	3,673
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△588	△2,647	△705
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△264	△1,527	△526
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	14,546	12,022	15,269

回次	第58期 第2四半期 連結会計期間	第59期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	59.23	<u>48.84</u>

(注) (省略)

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

(前略)

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高207億1千7百万円（前年同四半期連結累計期間比2.2%増）、営業利益は12億9千4百万円（同1.5%増）、経常利益は12億6千1百万円（同19.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億4百万円（同12.5%減）となりました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高207億1千7百万円（前年同四半期連結累計期間比2.2%増）、営業利益は12億5千8百万円（同1.3%減）、経常利益は12億2千5百万円（同21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7千6百万円（同15.1%減）となりました。

(後略)

《日本セグメント》

(訂正前)

(前略)

これらの結果、売上高は188億7千4百万円（前年同四半期連結累計期間比5.3%増）、営業利益は10億2千万円（同61.2%増）となりました。

(訂正後)

(前略)

これらの結果、売上高は188億7千4百万円（前年同四半期連結累計期間比5.3%増）、営業利益は9億8千5百万円（同55.6%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は13億6百万円（前年同四半期連結累計期間比45.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億5千9百万円に加え、減価償却費3億3千4百万円の計上があったものの、法人税等の支払額2億8千5百万円などがあったことによるものであります。

(後略)

(訂正後)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は13億6百万円（前年同四半期連結累計期間比45.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12億2千3百万円に加え、減価償却費3億3千4百万円の計上があったものの、法人税等の支払額2億8千5百万円などがあったことによるものであります。

(後略)

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
(中略)		
製品	3,573	3,403
仕掛品	1,665	1,641
原材料	2,692	2,780
繰延税金資産	722	720
その他	486	237
貸倒引当金	△57	△52
流動資産合計	37,163	33,221
(中略)		
資産合計	52,198	50,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
(中略)		
未払法人税等	229	320
製品保証引当金	213	199
その他	4,167	3,606
流動負債合計	6,703	6,298
(中略)		
負債合計	8,654	8,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,383	5,407
利益剰余金	33,294	33,954
自己株式	△3,271	△3,271
株主資本合計	40,795	41,479
(中略)		
純資産合計	43,544	41,838
負債純資産合計	52,198	50,082

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
(中略)		
製品	3,573	3,411
仕掛品	1,665	1,644
原材料	2,692	2,734
繰延税金資産	722	720
その他	486	237
貸倒引当金	△57	△52
流動資産合計	37,163	33,185
(中略)		
資産合計	52,198	50,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
(中略)		
未払法人税等	229	312
製品保証引当金	213	199
その他	4,167	3,606
流動負債合計	6,703	6,289
(中略)		
負債合計	8,654	8,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,383	5,407
利益剰余金	33,294	33,927
自己株式	△3,271	△3,271
株主資本合計	40,795	41,451
(中略)		
純資産合計	43,544	41,810
負債純資産合計	52,198	50,047

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	20,273	20,717
売上原価	11,406	11,243
売上総利益	8,866	9,474
販売費及び一般管理費	※ 7,591	※ 8,179
営業利益	1,275	1,294
(中略)		
経常利益	1,557	1,261
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	1,564	1,259
法人税等	457	355
四半期純利益	1,106	904
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	904

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	20,273	20,717
売上原価	11,406	11,279
売上総利益	8,866	9,438
販売費及び一般管理費	※ 7,591	※ 8,179
営業利益	1,275	1,258
(中略)		
経常利益	1,557	1,225
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	1,564	1,223
法人税等	457	346
四半期純利益	1,106	876
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	876

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,106	904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△84
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△583	△1,076
退職給付に係る調整額	30	62
その他の包括利益合計	△507	△1,099
四半期包括利益	599	△195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528	△195
非支配株主に係る四半期包括利益	70	—

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,106	876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△84
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△583	△1,076
退職給付に係る調整額	30	62
その他の包括利益合計	△507	△1,099
四半期包括利益	599	△222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528	△222
非支配株主に係る四半期包括利益	70	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,564	<u>1,259</u>
(中略)		
たな卸資産の増減額 (△は増加)	365	<u>△266</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	615	277
その他	△436	△174
小計	<u>2,577</u>	<u>1,518</u>
(後略)		

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,564	<u>1,223</u>
(中略)		
たな卸資産の増減額 (△は増加)	365	<u>△231</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	615	277
その他	△436	△174
小計	<u>2,577</u>	<u>1,518</u>
(後略)		

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(前略)

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	15,031	3,446	1,703	—	—	20,181	536	20,717	—	20,717
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,842	20	4	3,494	1,210	8,572	—	8,572	△8,572	—
計	18,874	3,466	1,708	3,494	1,210	28,753	536	29,289	△8,572	20,717
セグメント利益	<u>1,020</u>	146	66	1	79	<u>1,314</u>	5	<u>1,320</u>	△25	<u>1,294</u>

(注) (省略)

(訂正後)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	15,031	3,446	1,703	—	—	20,181	536	20,717	—	20,717
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,842	20	4	3,494	1,210	8,572	—	8,572	△8,572	—
計	18,874	3,466	1,708	3,494	1,210	28,753	536	29,289	△8,572	20,717
セグメント利益	<u>985</u>	146	66	1	79	<u>1,278</u>	5	<u>1,284</u>	△25	<u>1,258</u>

(注) (省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益	63円34銭	55円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,033	904
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,033	904
普通株式の期中平均株式数(株)	16,312,450	16,311,863

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益	63円34銭	53円75銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,033	876
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	1,033	876
普通株式の期中平均株式数(株)	16,312,450	16,311,863

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年4月25日

アイホン株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三浦 宏 和 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅井 明 紀 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアイホン株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アイホン株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成28年11月4日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。